

第 95号

HAKUHOKAI

虹

医療法人 伯鳳会

平成29年3月31日 発行

琴奨菊関が慰問されました！！

大相撲で活躍されている琴奨菊関が3月7日、介護老人保健施設 伯鳳会プラザと赤穂中央病院を慰問されました。1年ぶりの赤穂への訪問に、施設の利用者の方をはじめ、集まった約170名から大歓迎された琴奨菊関。たくさんの質問にも優しい笑顔で答えてくださいました。

実際に相撲のぶつかり稽古の相手をしたり、琴奨菊関と握手をしたりした患者さんは、「手がとても大きくてあったかかった」とお話しされ、たくさんの方が琴奨菊関から元気を貰いました。また、当初の予定にはなかった赤穂中央病院の病棟も慰問していただき、多くの入院患者様が笑顔に包まれました。

琴奨菊関の今後のさらなるご活躍を赤穂よりお祈りしております！



赤穂中央病院が新聞各社に取り上げられました！

赤穂中央病院が2誌の新聞に取り上げられました。

ひとつは、平成29年1月8日発行読売新聞にて、県内で化学療法を実施している病院を紹介する記事に掲載されました。化学療法を行っている血液内科は、血液の病気を専門とした診療科です。血液の病気の多くが貧血になったり出血しやすくなったり、また感染症に対する抵抗力が低下したりするため、日常生活に影響を及ぼすために注意が必要です。全国的に血液専門医が不足している中で、当院には血液専門医が2名在籍し、地域の血液疾患に対応しています。血液疾患でお困りのことがありましたら、当院の血液内科へ是非ご相談ください。

次に、平成29年3月25日発行の神戸新聞の『ひょうごの病院』にて、当院の概要と院長のインタビューが掲載されました。西播地区から岡山の東備地区周辺地域までをカバーする中核病院として、赤穂中央病院はこれからも『すべては患者様のために』をモットーに、医療に取り組んで参ります。

化学療法と細胞移植が柱

血液がんは増殖して、骨髄に浸透し、正常な造血機能を抑制し、成人も小児も、化学療法で、正常な造血機能を回復させる。造血機能を回復させるには、造血幹細胞移植が必要となる。造血幹細胞移植には、自家移植と異体移植がある。自家移植は、患者自身の造血幹細胞を採取し、化学療法で正常な造血機能を回復させる。異体移植は、他人の造血幹細胞を移植し、正常な造血機能を回復させる。造血幹細胞移植は、血液がんの治療の柱となっている。

診療科	患者数	手術件数	移植件数
血液内科	262	53	115
腫瘍内科	174	25	60
呼吸器科	157	11	11
消化器科	152	15	50
泌尿器科	142	17	6
皮膚科	125	2	314
小児科	105	0	6
産科	102	9	7
小児科	90	21	17
泌尿器科	85	1	1
呼吸器科	84	5	9
小児科	63	9	1
小児科	42	1	1
赤穂中央	42	0	0

「セ」はセンター。「一」は無回答または不明。

ひょうごの病院 24



赤穂中央病院 | 急性期から慢性期まで対応

院長 長尾俊彦 (1981年岡山大学医学部卒、98年赤穂中央病院心臓血管外科部長、2002年同院長)

電話 0791-45-1111

開院 1962年 病床数 265床

医師数 男性27人、女性2人

診療科目 内科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、小児科、アレルギー科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、神経内科、精神科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、矯正歯科、形成外科、呼吸器外科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科

看護士144人、臨床検査技士8人、理学療法士32人、薬剤師7人、作業療法士10人、診療放射線技師8人、言語聴覚士5人、臨床工学技士11人、診療情報管理士2人、管理栄養士4人

病理検査、超音波検査、内視鏡検査、MRI、CT、PET-CT

検査センター

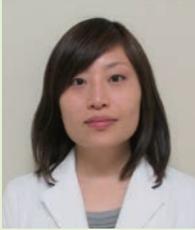
検査項目 甲状腺の内視鏡手術6件＝豊野公一消化器の上下内視鏡による検査・処置約3000件＝大木明義、仁科慎一、津田朋広心臓カテーテル検査82件＝占部則生冠動脈内ステント留置12件＝同▽下肢静脈瘤血管内焼灼術(レーザー・ラジオ波)89件＝長尾俊彦、北川敦士▽人工関節置換術20件(膝、股)＝高橋欣吾、武田健▽経尿道的ホルミウムレーザー前立腺核出術13件＝中山恭樹 ※2015年度実績、敬称略

病院の強み 西播から東備(岡山県)にまたがるエリアの中核病院の一つとして急性期医療に取り組む。一方、兵庫県から西播磨圏域リハビリテーション支援センターの指定も受けている。回復リハビリテーション病棟を備え、理学療法士や作業療法士の人数も多い。グループ内の施設と連携し、外来から手術、退院後までを一貫してサポートできる。

院長のメッセージ 広域に展開するグループのスケールメリットを生かし、最新の医療機器を備えて高度な医療を目指しています。地域に根差した病院として、診療所がそのまま大きくなったようなアットホームな雰囲気ですので、気軽に受診してください。

赤穂市窓口(下播磨赤穂駅)から西へ徒歩10分

新任医師紹介



外科(乳腺外来)
鳩野 みなみ 医師

3月から毎週火曜日の乳腺外来を担当させていただきます。皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



循環器科
森本 芳正 医師

毎週月曜日の循環器外来、カテーテル検査を担当しております。丁寧な診療を心がけています。よろしくお願いいたします。

CT装置更新のお知らせ

この度、赤穂中央病院放射線科においてCT装置の新規更新を行いました。

新しい装置（：独 シーメンスヘルスケア）では、1回転に収集できる画像数が128スライスと従来機種の倍になるなど、様々な機能が強化されています。

例えば検出器性能向上や画像再構成方法の変更などにより、従来の画像と同等の画質でありながら、撮影に伴う被曝線量を30～50%と大幅に低減することが可能となりました。これにより定期的にCT検査を受けなければならない患者様や小さなお子様などにもより安心して検査を受けて頂くことができます。

また2つの異なるエネルギーのX線を用いる技術（TwinBeam Dual Energy）が搭載され、痛風による尿酸結晶沈着の評価など、従来のCT装置では得られなかった情報が得られるようになりました。また体内金属（人工関節など）によるアーチファクト（虚像）低減にも利用でき、より臨床価値の高い画像が取得できるようになりました。

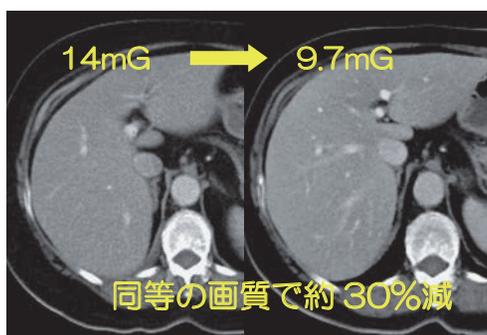
CT装置以外にも、今年度放射線科ではMRI装置やPET/CT装置の更新も行いました。今後これらの設備を十分に活用し、地域の皆様に最良の医療サービスをご提供できるよう努めてまいります。



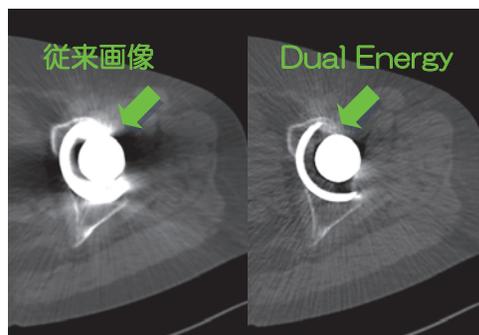
SOMATOM Definition Edge（独：シーメンスヘルスケア）



尿酸結晶の画像化（膝関節）



被曝線量の低減



金属アーチファクトの低減

我が家自慢のペット紹介コーナー

第85回目は、Kさん宅のジョニーちゃん

名前：ジョニー 性別：男の子
犬種：ポメラニアン 年齢：4歳



大好きなドッグカフェにて撮影！
おやつをくれる人が大好きで、苦手なものはワンコです。

このコーナーでは皆様からの「自慢のペット」投稿をお待ちしています。どしどしご応募ください。

赤穂中央病院 (基幹型卒後臨床研修病院)

所在地 〒678-0241 赤穂市惣門町52-6
電話 0791 (45) 1111 (代表)

赤穂はくほう会病院

所在地 〒678-0239 赤穂市加里屋字新町99
電話 0791 (45) 1111 (代表)

診療案内

平日 午前9:00～午後12:30
午後3:00～午後6:00
土曜日 午前9:00～午後1:00

診療予約受付フリーダイヤル

0120-891-700

平日 午前8:00～午後7:00
土曜日 午前8:00～午後2:00
日・祝日 午前9:00～午後1:00

午後の診療時間は各科により異なります。ご注意ください。

診療時間・曜日は変更となる場合があります。詳しくは待合室に掲示いたしますのでご覧ください。

不明な点は何なりと職員にお尋ね下さい。



～フライングディスク体験会を開催します～

『フライングディスク』というスポーツを知っていますか？

競技種目 (2種類)	① ディスタンス (ディスクを3回投げてどれだけ遠くに投げれるか)
	② アクチュア (標的の的をめがけ、10回連続投げて何回通過できるか)



今回は②のアクチュアを体験して頂きます。年齢・性別や障害の有無に関係なく楽しんで頂けるスポーツなのでぜひ体験会にお越し下さい。

投げてみよう！やってみよう！『フライングディスク』

日時：5月21日(日) 9:30～11:30

場所：赤穂中央病院南館2階リハビリテーション室

参加無料です！詳細は気軽にお問合せ下さい。



新しい年度を迎え、新生活を始めた方も多いのではありませんか？新しい環境に慣れるまでは、緊張して体調を壊しやすくなることもあります。そういう時こそリフレッシュして、楽しい新生活を送れるように心がけましょう。

